



る う て る



2018年
4月
No.844

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教 「赦され生かされて、生きる」

日本福音ルーテル教会 牧師 江藤直純

三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなりました。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」・・・このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

(ヨハネによる福音書21章17、19節)

死者の復活、あつてほしいと切に願いつつも、ありえないのがこの世の現実。だから、死を受け入れたくなくても、そうするほかにない。すべての終わりとしての死、やり残したことがあつても、やり直したいと願つても人生に終止符が打たれる。赤字決算でも変えられない。これが誰もが経験する人間の宿命。

しかし、ゴルゴダの丘の上で苦しみと屈辱の果てに絶命し、墓に葬られたその方を、神は「復活させられた」「高く引き上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになった」と聖書は宣言し

ます。代々の教会は「三日目に死人のうちから復活し」と告白します。誰もが最初は信じられなかった出来事を神は起こされたのです。

この奇想天外な告知が福音である所以は、「キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられ」たから。キリストだけでなく「アダムによつてすべての人が死ぬことになったように、キリストによつてすべての人が生かされることになる」からです。つまり、わたしもそうですが、復活させていただくのに値しない罪人である者も含めすべての人が、キリストの復活のゆえに、復活と新しいいのちに与らせていただくようになるというのです。死の束縛から解放放つ。これこそ福音です。

四つの福音書は、復活は「終わりの時」に完成するけれど、すでに今このときに始まることを語っています。その証人の一人がペトロ。熱血漢で、純朴で、命懸けで主イエスに従っていたのに、あまりにも弱く、無様にも三度否認して裏切り、刑場からも逃げ出すという取り返しつかない過ちを犯した。ペトロ。あの三日目の夕方とその一週間後に他の弟子たちと共に復活の主にお会いしたのに、それだけでは驚きはしても、いのちは萎えたまま、生きる力は枯渇したままです。生ける屍です。



ヨハネ21章が描いているのは、元の漁師に戻りかけたペトロたちに復活の主がみたび姿を現してくださり、決定的な会話を彼



となさつた場面です。「ヨハネの子シモン」と親しく呼び掛け、「わたしを愛しているか」と尋ねられます。そうです、その通りです、もちろんご存じでしょう、わたしはあなたを愛しています——ペトロはそう答えます。愛の告白あるいは信仰の告白を三度します。

二人の会話に大変興味深い言葉が用いられています。新共同訳では主イエスの問いは三度とも「愛しているか」であり、ペトロの答えも「愛しています」です。

最新のルター訳ドイツ語聖書でも六つともリベン(愛する)という訳語が採られています。しかし、ギリシャ語原典ではイエスキリストの最初の二回は「アガパオー」という動詞、最後の問いは「フィレオー」で、ペトロの答は三回とも「フィレオー」でした。どちらも「愛する」と訳すことができますが、ここで神の無償の愛アガペーと通じる動詞アガパ

オーと、友愛フィリアにつながるフィレオーは意図的に区別して使われたのでしようか。通説は単なる言い換えと見ますが、岩波訳はフィレオーを「ほれこんでいる」と思い切つて訳しています。そうならば、この会話でイエスキリストは、主が期待されたアガパオーとは違うペトロの愛フィレオーを持つ人間の限界を赦し、受容してくださったのだと、わたしには思えるのです。

主イエス・キリストはわたしたちの肉体的な弱さも罪も十字架と復活で赦し、未だ不十分さを抱えたままの生を受け容れて、新たに生かしてくださいませ。『わたしに従いなさい』と招かれます。ここに赦され生かされながら、終末での復活の完成を望みつつ今を生きる新しい信仰者の生き方が可能になります。ペトロは弱さを背負いつつ使徒としての生涯を全うしました。

わたし自身の69年間の人生、42年間の牧師とされるの歳月は、弱さと罪にもかかわらず、赦され生かされて生き、及ばずながら神と教会と人々にご奉仕させていただく恵みに浴した幸の時でした。十字架と復活は神の愛です。主の力です。ただただ感謝。アーメン



は神様の言葉ですよ」と言いました。授業では寝ていた生徒ですが、居眠りの中でさえ神様は導いてくださつたんですね。この子の核心を突く言葉に、心が震えました。

果たしてわたしたちはお守りのように、神様の言葉をいつも携えているのでしょうか。日々の慌ただしさの中で、言葉の存在さえ薄れ、言葉の光で照らし励ましてくださる神様を忘れていた時さえあるのです。またこの光は時に眩し過ぎて直視することさえできず、わたしたちは目が開けられないままに歩み、路頭に迷つてしまうのかもしれない。

神様の言葉はわたしたちの人生を照らしてくださっています。その照らされた道を、御言葉のともしびを携え歩いていきたいのです。

共に祈つた彼らもこの春、晴れて大学生。新しい道の途上で復活の主に出会うことができますように。

日本福音ルーテル教会 総会のお知らせ

- (1) 第28回定期総会 (教会総会)
日時: 2018年5月2日(水) 15時
開会礼拝~5月4日(金) 13時
主な議案:
①諸報告
②選挙
③礼拝式文改定の件
④海外宣教に関する件
⑤決算、予算の件
- (2) 全国教師会総会 (こちらが先です)
日時: 2018年5月1日(火) 14時
受付~2日(水) 12時
主な議案:
①教師会活動、会計報告他
②選挙
③その他の事項
- 会場はいつでも、日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)



議長室から

イエスを復活させたため、イエスが知られていますが、十字架の出来事で終わりで復活に思いを向けることはなかったのです。

どこに理由があるのか詳しく調べたことはありませんが、死からの甦りという使信があまりにも荒唐

た絵として、フランス人画家のルオーの描いた「聖書の風景」に目が留まりました。エマオの途上の出来事です。道行く人と一緒に歩むことになった2人の弟子は、その方が復活されたイエスであることを知らず、エマオという村へと向かう

の出来事は実に荒唐無稽だったことが分かります。しかしエマオの途上の道中、見知らぬ姿のイエスと共に歩むことで少しずつ変化して行つたのです。聖書の読み明かしをイエスから聞くことよって、彼らは心を燃やされ、夕食の時

途上の旅

総会議長 立山忠浩

主の復活を祝うイエスターを迎えました。先日、絵画集を眺めた時、イエスターを主題にした絵が少ないことに気づきました。クリスマスや十字架を題材にしたものに比べると明らかに少ないのです。音楽もきつと同じでしょう。さらに広げれば、文学もそうです。例えば、芥川龍之介が自死の直前まで

無稽に思えるからではないかと私には思われます。使徒言行録(17・32)のアテネの人々が、パウロの話が死者の復活に及んだ途端にあざ笑ひ、耳を閉じてしまったことを想起します。

珍しく復活を主題にした絵として、フランス人画家のルオーの描いた「聖書の風景」に目が留まりました。エマオの途上の出来事です。道行く人と一緒に歩むことになった2人の弟子は、その方が復活されたイエスであることを知らず、エマオという村へと向かう

に裂かれたパンをイエスからいただいたときに、その方が復活のイエスだと悟つたのです。そこから彼らの宣教が始まって行くのです。

「途上」という言葉にとっても深い響きを私は感じるので、私たちの歩みも

「途上」と言うことができず、わたしたちの本国は天にあり(フィリピ3・20)とパウロが言うように、この世に生きる私たちの誰かがいま、本国への途上にあるのです。その途上の歩みはエマオの弟子たちと同じように、主イエスとの旅なのです。イエスの姿は見えなくても、信仰の仲間の語る聖書の説き明かしは、信仰を燃やし、宣教へと奮い立たせるイエスの声と信じるのです。

4月は年度替わり、新しい歩みの始まる時です。皆さんの歩みに神様の祝福をお祈りいたします。

全国ディアコニア・ネットワーク 第16回「環境・人権・平和名古屋セミナー」に参加して

長谷川卓也(市川教区)

2月18日に名古屋めぐみ教会で開催された『憲法改正問題』について考える「国民投票」について学ぶというセミナーに参加しました。私は弁護士であり、法律家としての仕事と、キリスト者としての自分をどう関係付けていくのか、という長年の課題へのヒントを求めている参加者であった。

開会礼拝、小泉嗣牧師(千葉教区)の「隣人を愛する」という聖書の土台と憲法という国の土台を学び、日本におけるキリスト者として何をなすべきなのかを考えた。その後、弁護士の内河恵三さん(名古屋めぐみ教会)、小泉牧師、内藤牧師による「教会が社会にどのように関わっていくか」というパネルディスカッションになった。「教会の地域社会での役割・存在価値が必要になつていく」「教会として社会問題や平和問題を考える」ということが必要、「教会では社会問題を論じてほしくない」という雰囲気もあ

日本及び国際情勢が語られた。後半は、講師の長峯さんの体調のご都合で予定を変更し、まず、検校教会の内藤新吾牧師から、原発問題の現況についてお話をいただいた。その後、弁護士の内河恵三さん(名古屋めぐみ教会)、小泉牧師、内藤牧師による「教会が社会にどのように関わっていくか」というパネルディスカッションになった。「教会の地域社会での役割・存在価値が必要になつていく」「教会として社会問題や平和問題を考える」ということが必要、「教会では社会問題を論じてほしくない」という雰囲気もあ

る」「教会単位でなく個人として活動すればよく、その人々が一致して力を合わせていけば強い」「世の光」だけでなく「地の塩」の働きを、率直かつ活発な意見交換がされた。

私にとっては課題へのヒントを多に得られ、社会に仕え活動するキリスト者が教会の単位を超えてつながるディアコニア・ネットワークの活動の意義を強く実感する有意義なセミナーとなった。



カトリックと宗教改革500年⑥

宗教改革小史(2)

3. ルターの宗教改革

ルターは、人間の外面的なわざではなく、キリストの贖罪のわざに示された神の恵みとあわれみを全面的に受けとる「信仰のみ」において人は救いにいたるとする「福音主義」を唱えました。この福音主義は、その源泉と正統性を「神の言葉」である「聖書のみに」求めます。そこから教皇の権威や教会の伝承、ローマ教会の既存の組織、教会秩序への改革が訴えられます。



1517年、ヴィッテンベルク大学教授のマルティン・ルターがこの聖堂の扉に「95ヶ条の論議」を掲示したことが宗教改革の口火を切ることになりました。

こうした変革は、ドイツに大きな混乱をもたらしました。しかしルターの呼びかけはローマ当局と司教たちには聞き入れられず、教会と結ばれて政治的権威を代表する神聖ローマ皇帝カール5世は、1521年にヴォルムス勅令を発してルターを異端と断定し、追放しました。



1521年にヴォルムスで神聖ローマ帝国会議が開かれ、ルターは追放が決定されました。ルターは自説をまげず、教皇と公會議の権威を認めないことを明言し、最後に「ここにわたしは立つ」と言ったことごとです。

これに対してルターは、破門状と『教会法大全』を焼き、ザクセン選帝侯フリードリヒの保護のもとで、聖書のドイツ語訳を完成させました。また主著である『キリス

4. 宗教改革の拡大

ドイツにおけるルターの改革運動に並行して、スイスでは、ツヴィングリやカルヴァンがジュネーブを中心に改革運動を進めました。それは、オランダ、イギリス(清教徒ヘブリータン)、スコットランド(長老派(プレスビテリアン)、フランス(ユグノー)など、

ヨーロッパ各地に拡がっていきました。また、幼児洗礼を否定する再洗礼派(アナバプテスト)の運動もスイスから起こりました。さらにイギリスでは英国国教会(アングリカン)が成立しました。



ジャン・カルヴァン(1509-1564)は、ジュネーブ市の宗教改革を強力に指導しました。改革派教会・長老主義教会を方向づけ、大きな影響を与えました。



カトリック教会内でも改革が進んでいました。イグナチオ・ロヨラ(1491-1556)が創立したイエズス会の活動はその一例です。

カトリック教会は、日本のカトリック教会の皆さんに宗教改革500年共同記念の意義を知らせるため、リーフレット「カトリックと宗教改革500年」(発行：カトリック中央協議会、制作：宗教改革500年記念行事準備委員会)を作成しました。編集責任を負われた光延一郎神父(イエズス会、上智大学教授)よりご提供いただき、紹介します。

ルーテルアワー
biblestudy.jp

「ルーテルアワー」のサイト
【**あなたの部屋**】より

伊藤早奈

いつも一緒

ヨハネ21・1〜14

「祈り」神様。私たちは「今年」の4月は「〇〇だ」と前年と比べてみたり、自分の記憶にあるかつて4月と比べてみたり。小学校や中学校の入学式であったり、就職したときであったり、様々な春の思い出がよみがえってきます。それらが映像として残って

いたり、香りや音で残っていたりと、心に残るそれぞれの4月は一人一人違います。その一人一人のかけがえのない瞬間に神様あなたに共に祈り、一人一人の心に寄り添ってください。あなたと共にいる今を私たちは勇気を持って精一杯生きることができそうですよ。この祈りをイエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

あなたはこれまでに何度イエス様と出会いましたか？
ヨハネ福音書21・14では「イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに

の1回は私たちの命が造られてずっと続いているのですから。回数では少ないけれど、長いのです。ペトロは漁師としての日常の生活に飛び込みます。そこにもイエス様は立っておられます。イエス様は日常の中にあってもあなたと共にいられます。たとえあなたが気付いていなくても、いつも共に立っておられます。イエス様はボートと立っておいでも、ただ立っておられるのでもなく、あなたと共に

カンボジアのワークキャンプに参加していろいろなことを経験でき、多くの人と出会う中でも自分自身を成長させてもらったと感じています。現地へ行く前にはワークをしてカンボジアの人の役に立てれば良いと思っていました。しかし、子どもたちと遊んだり、カンボジアでいろいろ

る人たちに会ったりしていく中でその考えは少しずつ変わっていきました。カンボジアは日本より発展してないから、不自由で窮屈な生活をしていると思っていました。しかし、子どもたちと遊んでいるときに、子どもたちの笑顔を見てこの子たちは希望にあふれていると感じました。

自分は大きな勘違いしていました。自分が与える側だと思い込んでいた私は子どもたちに対して何も与えられず、とても自分が無力だと感じました。子どもたちの笑顔から学ばせてもらったのに、何も返せない自分がとても無力を感じました。

また、同じ年代のクリスチャンの青年と交流を持てたことはとてもいい経験でした。国も違うし言葉も文化も違うけれど、一緒に交わりの時を持ち、祈りの時を持てたことで、同じ神様にあつてつながつているというのを強く感じる事ができました。

本日にカンボジアで神様から与えられたものは大きなものでした。この与えてもらったものをまずは自分の周りに少しでも分けることができたらいいと思います。

カンボジアワークキャンプ 大きなものを与えられ



廣瀬知登 (大江教会)



第27回総会期
第6回常議員会報告
事務局長 白川道生

2012年策定の「第六次総合方策」の6年目、期中3度目となる全国総会を5月に控えた、第27回総会期の第6回常議員会でした。年間予定では2月20日から22日にかけて日程が組まれていたが、この期間中に、人事委員会を開催することになったため、変則的な3日間の会議となりました。しかしながら、審議

と決定を必要とする事項はすべて決議されました。主な事項を以下に記します。

▼諸報告の承認
立山総会議長の議長報告をはじめ、教区長報告並びに室長報告を含む役員報告、これに諸委員を加えて20の報告があり、一日目が終了しました。常議員会の役割は、それぞれに取り組んできた方策の進捗状況と課題を共有し、聖書が示すあり方に導かれながら、申請や計画の承認や決定すること、この会議を通して「ルーテル教会がひとつ」であるように整え

る、重要な位置づけである点は一貫して変わっていません。

▼人事と教職態勢
教職任用を望む3人から出願があり、「教師試験」並びに「任用試験」が実施され、全員が合格となりました。本年は4名の教職が定年退職を迎えました。いわゆる教職大量引退期に入っている認識をもっています。

一方で、神学校の学生数が減っている現状と合わせて、宣教態勢をいかに組んでゆくのかが、課題協議がなされました。

そして、新任3名を含む18件からなる2018年度人事提案が常議員会で承認されました。これにより新年度の教会任命教師は、現職74名と出向・海外関係10名となり、ここに牧会委嘱・宣教教師が加わる新年度の宣教態勢が定まりました。加えて、前任者の帰国に伴う宣教師の派遣決定も本年の特別事項です。人事内容は別項に記しましたので、ご確認ください。

▼決算と予算の審議・承認、教会土地建物の改築申請
2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に



左 広瀬さん

※4月14〜24日に日本福音ルーテル社団のカンボジア・ワークキャンプチャレン。杉本洋一牧師が開催されました。



新任牧師 挨拶

多田 哲(たださとし)



主に感謝します。今年度新しく

日本福音ルーテル教会の牧師になりました多田哲です。西教区・豊中教会出身で、4月1日から神奈川県横浜市の日吉教会へ派遣されることになりました。

通い始め、2004年のクリスマスに近畿福音ルーテル西教区で受洗。3年後、日本福音ルーテル教会へ転籍しました。大学院では歴史言語学を専攻し、後期博士課程まで進みましたが、献身の命が与えられ、神学校へ入りました。



4月からは日本福音ルーテル長野教会と松本

これまでずっと学生で社会に出たことのない未熟者ですが、福音宣教のため、みなさんと一緒に歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

野口和音(のぐちかずね) 日本福音ルーテル長野教会 松本教会

教会に赴任することになりました。野口和音です。熊本教会の教会学校「サムエル・ナイト」で幼稚園の頃からお世話になり、その後神学校へと導かれることとなりました。その道のりの中で、多くの方々から愛をもち育てられ、支えられてこまごま来られましたことを感謝いたします。



この度日本福音ルーテル教会の牧師として任用されました

森田哲史(もりたさとし) 日本福音ルーテル新霊山教会

森田哲史と申します。4月1日より、新霊山教会に派遣されることとなりました。教会の皆さまと福音を分かち合う恵みを嬉しく思います。また、教会だけではなく、社会福祉法人デンマーク牧場福祉会のチャプレンとしての責任も与えられました。特別養護老人ホームや児童養護施設など、教会と社会を繋ぐ最前線の現場を通して福音を広く宣べ伝えることが出来るよう主に任せていきたいと思っております。社会福祉の分野につきましては未知の領域ですが、また学校に入り直した気持ちで、一から勉強させていただきます。皆様のお祈りとお支えを賜うことが出来れば幸いです。

教職授任按手式2018

当教会の教師試験と任用試験に合格した多田哲さん、野口和音さん、森田哲史さん3名への教職授任式が、3月4日に当教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)にて行われました。主

司式は岡田薫北海道特別教区長が担当し、按手には立山忠浩総会議長を始め、副議長、各教区長、全国教師会会長、宣教師代表が加わりました。

礼拝説教において立山議長は、日曜日の夜に行われる按手式をイースターの夕方に弟子たちが集まっているところにイエスが姿を現されたことになぞらえて、牧師は平和のために派遣されること、そのためにイエスが自身によって「聖霊を受けなさい」と聖霊を授けられると新任牧師への励ましを語り、祝福を祈りました。

東教区「3・11を覚える礼拝」

東日本大震災の発生から7年となる3月11日。東京教会と会場として標記礼拝が行われました。

震災後ボランティア活動を続けている聖望学園高等学校の方々より、現地のこれまでと今について、そして被災者とひとくくりにせず、そこで暮らすお一人おひとりとのつながりを持ち続けることについてお話を伺いました。礼拝では元ルーテル教会救援派遣牧師であった野口勝彦牧師により創世記9章のみ言葉が分かち合われ、共に黙想し祈りを合わせました。

日本福音ルーテル教会人事(2018年度)

○退職(2018年3月31日付)

- ・青田 勇(定年)
- ・江藤直純(定年)
- ・齊藤忠碩(定年)
- ・谷川卓三(定年)
- 新任
- ・多田 哲
- ・野口和音
- ・森田哲史

○人事異動(2018年4月1日付)

- 【北海道特別教区】
 - ・日笠山吉之 恵み野教会(主任)
 - ・中島和喜 恵み野教会(主任・兼任)
 - ・三浦知夫 東京池袋教会(主任)
 - ・李 明生 田園調布教会(主任)
 - ・市原悠史 横浜教会(主任)
 - ・横須賀教会(主任)
 - ・河田 優 三鷹教会(主任・兼務)※5月30日まで
- 【東教区】
 - ・野口和音 長野教会(主任)
 - ・松岡俊一郎 甲府教会(主任・兼任)
 - ・諏訪教会(主任)
 - ・三浦知夫 東京池袋教会(主任)
 - ・李 明生 田園調布教会(主任)
 - ・市原悠史 横浜教会(主任)
 - ・横須賀教会(主任)
 - ・河田 優 三鷹教会(主任・兼務)※5月30日まで
- 【東海教区】
 - ・野口勝彦 みのり教会(主任)
- 【西教区】
 - ・高村敏浩 三鷹教会(主任)※6月1日付
 - ・多田 哲 日吉教会(主任)
 - ・秋山 仁 喜望の家(主任・兼務)
 - ・加納寛之 福山教会(主任・兼任)
 - ・鈴木英夫 三原教会(主任・兼任)
 - ・松本義宣 松山教会(主任・兼任)
 - ・白川道生 唐津教会(主任)
 - ・小堀教会(主任)
 - ・佐賀教会(主任)※6月1日付
 - ・宮本 新 ルーテル(主任)
- 【九州教区】
 - ・白川道生 唐津教会(主任)
 - ・小堀教会(主任)
 - ・佐賀教会(主任)※6月1日付
- 【出向】
 - ・宮本 新 ルーテル(主任)
- 待機
 - ・山田浩己
- 復職
 - ・後藤由起 ※一般から嘱託への任用変更／東教区付
- ▽宣教師
 - 【ELCA長期宣教師】
 - ・アンドリュウ・ウィルソン ルーテル神学校(8月1日職務開始)
 - ・セーラ・ヒンキリー・ウィルソン 東教区付／東京教会(8月1日職務開始)
 - 【J3宣教師プログラム】
 - ・ブレント・ウィルキンソン ルーテル学院中学・高校(3月31日退任)
 - ・スコット・カルズニー ルーテル学院中学・高校(4月1日新任)
 - 【LEAF信徒宣教師】
 - ・ミリアム・ハリユウ 東教区付／市ヶ谷教会(4月1日任地変更)
 - ・藤井邦夫 宇部教会
 - ・谷川卓三 松山教会
 - ・白髭 義 甘木教会
 - ・以上
- その他
 - ▽教会委嘱(2018年4月1日付／1年間)
 - ・明比輝代彦 掛川・菊川教会
 - ・乾 和雄 神戸東教会
 - ・北尾一郎 甲府教会
 - ・齊藤忠碩 復活教会
 - ・渡邊 進 沼津教会
 - ・藤井邦夫 宇部教会
 - ・谷川卓三 松山教会
 - ・白髭 義 甘木教会

公告

この度、左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき全員告じます。

2018年3月15日

- 宗教法人 日本福音ルーテル教会
- 代表役員 立山忠浩
- 信徒利害関係人 各位

- 理由 宣教百年記念会堂建
- 地目 宅地
- 地番 216番3
- 地積 310.41㎡
- 築資金回収のため